

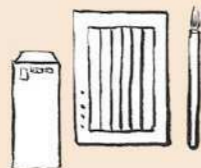
和紙ってなに？ ③

# 和紙 の きほん

和紙の特徴  
和紙の原料  
和紙の作り方

理論社

# もくじ



## 紙ってなんだろう

..... p.04

## 和紙と洋紙

和紙と洋紙の特徴 ..... p.08

和紙と洋紙の書きごち ..... p.10

和紙と洋紙の原料 ..... p.12

和紙と洋紙のつくり方 ..... p.14

◆紙の博物館へ行ってみよう ... p.15

◆和紙が強くてじょうぶなのは、  
なぜ? ..... p.16

## 和紙になる植物

### 和紙原料が

できるまで ..... p.20

コウゾ蒸し・皮むき・表皮取り ... p.22

◆後継者不足と外国産の増加で  
コウゾ生産者が減少 ..... p.25

## 和紙ができるまで

..... p.26

①コウゾを煮る・さらす ..... p.28

②チリ取り ..... p.29

③繊維をほぐす(叩解) ..... p.30

④紙すき(紙料の調合) ..... p.31

⑤紙すき(流しすき) ..... p.32

⑥紙床をつくる ..... p.33

⑦脱水・乾燥・選別 ..... p.34

◆しめった和紙を乾かす  
「板ぼし」の方法 ..... p.36

◆ユネスコ無形文化遺産の  
3つの和紙 ..... p.37

## 和紙づくりの道具

..... p.38

## 和紙の基礎知識

和紙の種類 ..... p.40

・きほんの和紙 ..... p.40

・もようつき・植物など素材入り ... p.42

・染め紙 ..... p.43

和紙のぎもんQ&A ..... p.44

和紙の用語集 ..... p.46

◆都道府県別さくいん ..... p.48



# 和紙と洋紙の特徴 とくちょう

和紙と洋紙のちがいはなんでしょう。和紙のなかでいちばん多く生産されているコウゾ紙のうち伝統的な方法の手すきでつくられた紙と、私たちに身近な洋紙であるコピー用紙の特徴をくらべましょう。



1枚ずつ手すきした和紙の特徴は、紙のふち(へり)がまっすぐではないこと。ふさふさした繊維の毛羽立ちがわかります。

繊維と繊維がからみ合い、そのすきまに空気の層ができるのも手すき和紙の特徴。すきまがあるため光をほとんど通します。



洋紙  
コピー用紙

コピー用紙は大きな紙を機械で裁断して各サイズに整えるので、紙のふち(へり)はまっすぐ。A4、B5など決められたサイズがあります。

コピー用紙は木材や古紙からとった短い繊維を、シート状に加工してつくります。密度が高く光を通しにくい性質があります。

代表的な和紙ってどんな紙？

まめちしき豆知識



ひとくちに和紙といっても実はさまざまな原料やつくり方があり、それぞれちがう特徴の紙ができあがります。そのなかで生産量が多く広く流通しているのがコウゾを原料にしたコウゾ紙。代表的な和紙といえればコウゾ紙をイメージすることが多いでしょう。

＼ 和紙はざらっとした手ざわり。空気をふくみ光にすける ／

手ざわり

ざらざら

表面は繊維の質感が残ってざらっとしていますが、とてもしなやかな感触。

厚み

厚くも薄くもすける

つくり方によって厚くも薄くもできます。空気をふくむため、厚くても軽い紙に。

じょうぶさ

劣化しにくく長もち

繊維が長いので薄くてもじょうぶ。コウゾ紙は何百年も保存できるといえます。

質感・すけ感

ふんわりやわらかい

空気の層があるのでふっくらした質感。すけ感があり通気性にもすぐれています。

＼ 洋紙はなめらかでつるつる。ちみつで光にすけにくい ／

手ざわり

つるつるなめらか

表面が平らでつるつる。なめらかな手ざわりで、印刷しやすいのも特徴です。

厚み

厚さが均一で薄い

機械で設定した同じ厚さで大量の紙がつかれます。薄くてもぱりっとしています。

じょうぶさ

和紙より弱く劣化しやすい

繊維が短く、さらに薬品などでいたんだりするため和紙より弱く長もちしません。

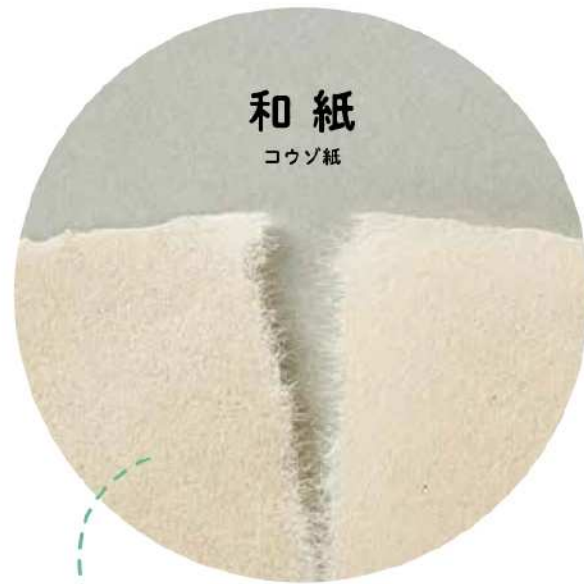
質感・すけ感

ちみつですけにくい

繊維がぎゅっとつまっていてハリがあります。すけにくいことも特徴です。

# 和紙が強くて じょうぶなのは、なぜ？

紙をやぶって繊維を見よう



和紙  
コウゾ紙

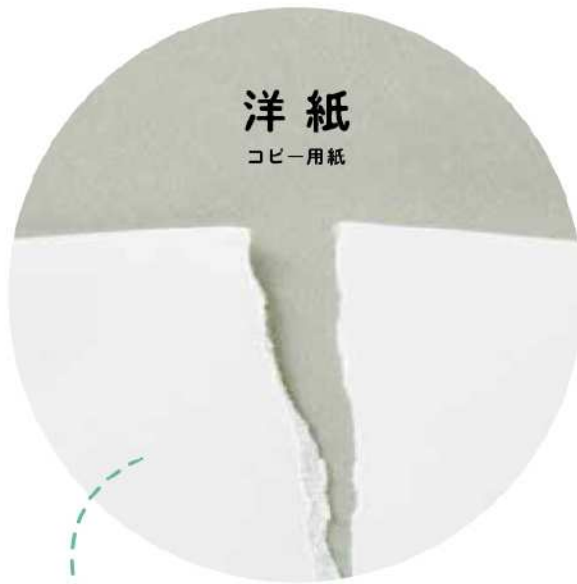
細かく  
毛羽だった  
繊維が見える

コウゾ紙を手でやぶると、  
長い繊維がたくさんあら  
われました。



顕微鏡で  
見てみよう！

繊維1本1本はとても長  
く、ピンと立っていて、  
まるで紙から繊維が生え  
ているようです。



洋紙  
コピー用紙

さけ目は  
あまり  
毛羽立たない

コピー用紙のやぶれ目は  
なめらか。繊維はほとん  
ど見られませんでした。



顕微鏡で  
見てみよう！

顕微鏡で見ても、短い纖  
維が少し確認できるだ  
け。目で見るときとあま  
り印象が変わりません。

## 1000年もつ 和紙もあるほど 長もち！

和紙の  
保存性が  
高いわけ

和紙は1000年  
洋紙は100年と  
いわれていたよ！

### 繊維

#### そのものが長いから

繊維が長く強度が高いことから、じょうぶな紙になる和紙。強い紙は保存性にすぐれ、奈良時代の『正倉院文書』など古い文書類が今も残っています。

### 繊維を取り出すとき

#### あまりいためないから

洋紙は繊維を取り出すとき強アルカリ性の薬品を用います。和紙は弱アルカリ性の溶液を使い繊維へのダメージが少ないため保存性の高い紙が作れます。

### 紙をすくときに

#### 薬品を使わないから

洋紙は1980年代まで、長い時間がたつと酸化する、にじみ止めの薬品を使っていました（現在は酸化しにくい薬品に変わってきています）。そのため、古くなった洋紙は繊維がこわれて紙はボロボロに。和紙は、紙をすくときから仕上げまで、ほとんど薬品を使いません。酸化しにくいのでとても長く保存できます。



写真は50年たって変色し、ボロボロになった洋紙の本。

※紙の博物館発行「和紙と洋紙」より

## 5 紙すき(流しすき)

流しすきの工程では、すげたに紙料をすくい上げ、ゆらして、よぶんな紙料をすてる、という作業を数回くりかえします。すげたの上で繊維と繊維をからませながらシート状にすることで、紙の層をつくっていきます。

### 化粧水・ならし



内村さんは体全体を使い、リズムカルな動きで紙をすいています。

### 紙料をくみ上げ 全体にいきわたらせる

まずは手元のほうから紙料をくみ上げ、すげた全体にすばやく行きわたらせて繊維の薄い膜をつくります。地域によりことなりますが、「細川紙」の産地ではこの最初の薄い膜をつくることを「化粧水をくむ」といいます。つぎも同じようにすげたで紙料をすくい、前後にゆらして全体をならしていきます。

### ゆすり・すて水



すくうときは手前から、すて水はすげたを前方にかたむけて、すてます。



### ゆすって厚みを出し よぶんな水をすてる

つぎは、ゆすりの工程。すげたで紙料をすくい上げたら、こんどは少し時間をかけて、前後にゆらしながら繊維をからませ、よぶんな水をすてます。これを数回くりかえして紙の厚さを調整。回を重ねるごとにすげたの上に紙の層ができて、表面がだんだんと白くなっていくのがわかります。

## 6 紙床をつくる

すき上げてから乾かすまでの、水分をふくんだ和紙を「湿紙」とよびます。この湿紙を重ねた状態を「紙床」といい、湿紙を紙床でひと晩ねかせて、紙からよぶんな水分をゆっくりと落としていきます。

### すき上がった紙を紙床へうつす



すいた紙をしんちょうに紙床に重ねていきます。



### すきすごと紙をはずし 湿紙を重ねて層にする

湿紙を紙床にうつすときは、すげたからすきすをはずします。紙床の上に湿紙を重ね、すきすを静かにはがします。紙床にはその日1日にすいた紙を重ねていきます。内村さんの場合は100枚くらい。紙を1枚すいたらすぐに紙床に重ねなければならぬので、紙すきの作業をするときは集中して行います。

### 水分を自然に落とす



湿紙は位置をきれいにそろえ、空気が入らないようにぴったり重ねます。

### そのままひと晩ほど おいて自然に水分をぬく

湿紙を重ねた紙床は、ひと晩ほどねかせて、繊維にたっぷりふくまれた水分をぬいていきます。このようにぬれた紙を重ねても、上下の紙はくっつきません。それはネリのはたらきにより、1枚の紙のなかで繊維と繊維がつながっているから。湿紙どうしを重ねてもくっつかずに1枚ずつはがしやすくなります。

※湿紙…紙をすいた直後の、まだ水分をふくんだ状態のしめった和紙をさすよび方。湿紙を乾かし、製品としての和紙に仕上げます。